

「あの時」の主を 思いつつ

イムマヌエル綜合伝道団今治教会牧師

清田 智子

神様に背を向けて、自分勝手な道を歩んでいた私にイエス様が近づいて下さり、救いの恵みに与ったのは二五歳の時でした。その後、ある聖会で「預言をないがしろにしてはいけません。」(一テサロニケ五二〇)のみことばが語られました。聖書への姿勢を悔い改め、翌朝、聖書を開くと「そのみわざを、国々の民の中に知らせよ。…主はすばらしいことをされた。これを、全世界に知らせよ。」(イザヤ書二・四、五)のみことばが心に飛び込み、「まさか牧師になるようにという事では…」と戸惑ったことを覚えて

います。その後、献身者生活をしつつ、召命の吟味をするよう導かれました。献身者生活は、先生方の救霊と牧会への情熱を直に見させて頂く時でした

し、教会の方々と親しい交わりを頂く恵みの時でした。最初は二年の予定でしたが、道が開かれず、二年、三年、四年と時が過ぎてゆきました。そのような中でも私のうちにある召命の声を消すことができず、五年目を迎えましたので、「今更やっばり間違いました。」とは言えないという思いが私の中に強くなっていききました。年が明けたある礼拝後、母が私に封筒を手渡してくれました。そこには「これはあなたが結婚する時に渡そうと思つていましたが、今渡すのがよいと思つています。」との手紙とともに私の古ぼけた母子手帳が入っていました。それを見た私は涙が止まりませんでした。

私が献身者生活を始めた頃、両親は次々に入院をしました。また、私の献身のことで後ろ指を指す人がいたようで、両親は大変辛いところを通つたようです。やつと私の行くべき道が決まったと思つたのでしよう、私を献げる思いで神学院に送り出そうと決心したのだと思います。もし、私が献身しないことになったら、どんなに両親は落胆するだろうと思つていました。ひとり神様の前に出て、叫ぶような祈りをしました。そして最終的には「ただみこころに従います。たとえ結果が両親を悲しませるようなことになつたとしても、御手にゆだねます。」と祈りました。

秋の聖化大会主講師 パドゥー・メシュラムカル博士のプロフィール

インドに生まれ、ナザレン教会で信仰を持ち、インドで学ぶ。学位は学士(BA)、神学学士(BD)、神学修士(M.Div.)、宗教教育学修士(MRE)、牧会学博士(D.Min.)を取得。BDのためにユニオン聖書大学在学中に日本人宣教留学生と交わり、その繋がりで数度来日、説教奉仕をされる。

インド・ナザレン教会の牧師として1965年以来半世紀以上の奉仕を務める。その傍らインド・ナザレン聖書訓練大学において22年間教師として、また学長として奉仕する。また、ナザレン教会の諸教区でTEE(拡大神学教育)の奉仕を4年間務める。

1996年以来、南アジアのナザレン教会における伝道と教会建設の働きに携わる。特に、ネパールにおけるナザレン教会の開設を助ける。超教派の働きとしては「ジーザス」映画伝道の主事、南インド聖書学校理事長(1983-2008年)、インド福音連盟理事、理事長等を務める。ご夫人はスダさん、ご長男はアトルさん、ご長女はソニヤさんである。

事務局だより

▶ 聖化第45号をお届けします。全国各地の聖化大会の祝福をお祈りいたします。

聖化

2009.4.30

日本聖化協力会機関誌

No. 45



東海の地からの観察と提言

東海聖化交友会会長
日本イエス・キリスト教団名古屋教会牧師

松浦 剛

「福音と世界」二〇〇九年三月号に、山口陽一師が「日本キリスト教史における一九七四年以後」との文章を載せられた。日本福音同盟によつて一九七四年六月三〜七日、京都において第一回日本伝道会議が開催されたことは日本の福音派諸教会にとつても、キリスト教全体にとつても画期的できごとであった、との論説がされている。

これを読み終えてすぐ、東海聖化交友会が二〇〇七年十月に発行した「御霊が語らせるままに」という冊子を手にとらねばならなかった。

この冊子は東海聖化交友会の二十周年を期して、それまでの足掛け二十年に及ぶ歩みをまとめたものであった。その内容の中心は、毛戸健二師と竿代信和師によつて執筆された歴史記述である。大事な点を要

約すれば、次のようになる。東海聖化交友会発足の端緒は、日本聖化交友会が一九八五年に誕生したことにある。それまでに存在した聖化の良書を発行してきた福音文書刊行会と関西を中心に展開されていたジョン・ウェスレーに学ぶ会を支えて来られた方々を中心に、一九八五年に日本聖化交友会が生まれた。三年後の一九八八年、当時の会長本田弘慈師は全国にこの運動が展開されることを願い、各地の関係者に呼びかけ始められた。一九八八年七月に有志が相談し、十月に本田弘慈師、松木祐三師、岸田馨師を講師として迎え聖会を開催した。

聖会は祝され、一九八九年十月に東海聖化交友会が正式発足した。私には「日本キリスト教史における一九八五年以後」という文章を書く能

力はない。が、聖化を宣証する教団で奉仕する牧師の一人として、日本聖化交友会が出来て以来、わが国におけるキリスト者の交わりに命がもたらされたかと判断している。二〇〇八年には日本聖化協力会と名称が変更され、負う使命も拡大された。東海聖化交友会の役員たちで話し合っていることがある。①日本聖化協力会の働きは関東聖化交友会に負うところが大き過ぎた。②全国評議員会のための経費、時間、労力は大きく何らかの形で集約できないか。③副会長、地方役員が機能的に奉仕を展開されることを。

以上のようなことが的確かどうかはわからない。いずれにしても日本聖化協力会が使命を十分果たしていくことが必要である。